



## 第2回定例会 補正予算の主なもの

### <農業費：1億3882万3千円>

太平洋汽船から太平洋農場を購入するための農地購入費です。(広さは2000畝)



### <商工費：1372万2千円>

鉛川レクリエーションセンター老朽化対策事業補助金。古くなった建物の解体・改築の一部を補助します。この建物は2024年3月31日に譲渡される予定です。



### <社会教育費：5596万3千円>

アイヌ文化財保存活用業務委託料。国からの交付決定があったため、八雲町のアイヌ文化財を保護・活用し、アイヌ文化を学ぶ機会を広く提供するため、ウェブページの作成、2件の石碑の保護、説明看板8件の設置、鳥観図3件の設置、リーフレットの作成等を行います。



### <総務管理費：5507万7千円>

一般管理費から、八雲町役場庁舎等新築工事実施設計業務委託料として。

### <259万4千円>

難民受け入れ費。  
受入住宅の水道とオイルサーバーの故障が見つかったため、修繕費。



### <児童福祉費：1億850万円>

- ・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金 850万円 (6月下旬に振込予定)  
子ども一人5万円 × 170人分
- ・子育て世帯生活支援給付金：1億円  
18歳までの子ども一人5万円 × 2000人分 (8月下旬から振り込み予定)



### <財産の取得について>

消防職員用に、新基準防火衣35着を購入します。(1498万8490円)



# 一般質問



## Q1. 町が取り組むべき事業とは？

町長は将来の財政不安を少しでも減らすために、町が出資し青年舎や木蓮、サーモン養殖をスタートさせましたが、この取り組みが生産者からの強い要望から始まったものではなく、町の呼びかけで始まったことに不安を感じています。これらの事業は当初の目的や計画に沿って順調に進んでいるのか、現状と課題に対しどのように考えているのか、更に今後、きくらげの栽培（熊石地域）、ワイナリー、ウイスキーの取り組みもお考えのようですが、どのような方法で進めようとしているのかお伺いします。

### A1. 持続可能なまちづくりのため、1次産業の創出は不可欠！

- 青年舎の目的である研修部門の拡大は進まず、牧場収益を町全体の農業振興のために活用も出来ていないので、関係機関と連携しサポートを継続していく。
- 木蓮はコロナの影響で、計画通り進んでいない。安定した財源確保や新たな事業展開を図ること、組織基盤の強化と自立のための体制作りを構築することが課題。商工会と連携し指導及び助言をしていく。
- サーモン養殖は、昨年 卵からふ化させた幼魚は順調に育っており、現状の施設でどのくらいの幼魚を育成できるか試験を続け、種苗の生産拡大と施設の増設に向け事務を進めている。海面養殖は、ひやま漁協熊石支所のサーモン養殖部会が来年の水揚げ以降の自立を目指し、精力的に活動しているが、今年5月に水揚げしたサーモンの生残率が大幅に低下したため、原因究明と来年度に向けた対応策を考えている。
- きくらげは、初期投資はかかりすぎる感もあるが、企業の協力を得ながらうまくいくと思っている。様々な業種の人が副業として取り組み、うまくできたら生でも乾燥でも間違いなく売れる。
- ウイスキーは協力企業を募集。ワイナリーは1万本程度から始めるので、それほどお金はかからずにとできると思う。やり方はここ2年で検討する。

ふるさと納税で町財政は良くなっているのので、議会の賛同を得られれば、やる気のある人にはどんどん支援していきたい。

※町の出資や補助額は示されますが、誰がどのような計画で進めるということは、いつも後出しとなっています。本来なら総合計画に載せ、予算と共に計画が示されなければ町が行う事業として成り立ちません。「ルールは必要だという人もいるが、若い人とやる気のある人にはチャンスを与えたい」という町長の思いもわからなくはありませんが、民間企業ではなく税金を扱う町としては、取り組み方が乱暴すぎると思います。地域に産業を根付かせたいという思いは同じだからこそ、しっかりと計画を練り、みんなで成功に向けて取り組める仕組みを大切にしてほしいです。

## Q2. 産業支援の強化を！

町内の小売業やサービス業では、コロナの影響、少子化や人口減少による購買力の低下、電気代値上げによるコストの拡大、ネット販売の影響等々、個人では解決できない大きな課題がある中、廃業という残念な結果にならないように、情報共有・情報提供等の支援が必要だと思いますが、町長のお考えをお伺いします。

### A2. 商工会と連携し、商工振興を推進！

一次産業に比べ、商工関係はなかなか進まなかったと反省している。商工会、商工会理事、青年部と連携を取りながら商工の発展に努力したい。

## Q3. 外国語表記の推進を！

### A3. 新幹線開業に合わせ検討



# 文教厚生常任委員会 への報告より

## 【国保病院の建替えについて】 5月18日の報告より

### 新病院施設概要（基本設計）

- ・業対象敷地面積 15,507 m<sup>2</sup>      ・延べ床面積 3,330.33 m<sup>2</sup>
- ・構造企画 地上2階建てRC造      ・病床数 計30床
- ・駐車場台数 計142台（来院者用：63台、職員用：73台、  
業務用4台、その他：2台）

### 概要事業費（工事費）

- ・基本設計概算工事費 22億1千6百万円
- ・当初目標概算工事費 19億5千4百万円
- 比較 2億6千2百万円増

地域の方にとってもスタッフにとっても、より良い病院になりますように！

## ☆2022年度 国保病院の決算について

	2021年度決算	2022年度決算	差額
入院収益	3億5632万4千円	2億6744万円	△8888万4千円
外来収益	2億7049万7千円	2億6008万2千円	△1041万5千円
収益総計	9億777万1千円	8億7983万3千円	△2793万8千円
給与費	4億6792万円	4億6970万8千円	1788万円
材料費	2億1938万9千円	2億399万8千円	△1539万1千円
費用総計	8億8244万7千円	8億7658万2千円	△586万5千円
差引き	2532万4千円	325万1千円	△2207万3千円
内部留保資金	2億6871万3千円	2億8293万9千円	1422万6千円
資金不足比率	△38.5%	△48.1%	△9.6%

## ☆2022年度 八雲総合病院の決算について

	2021年度決算	2022年度決算	差額
入院収益	26億9050万2千円	24億477万1千円	△2億8573万1千円
外来収益	11億9486万9千円	12億3664万9千円	4178万円
収益総計	60億2345万8千円	57億3080万1千円	△2億9265万7千円
給与費	34億2817万4千円	33億7749万5千円	△5067万9千円
材料費	7億4402万円	7億2261万3千円	△2597万8千円
費用総計	53億1798万1千円	52億9200万3千円	△1億946万3千円
差引き	7億547万7千円	4億3879万8千円	2億171万7千円
内部留保資金	14億4349万2千円	20億5271万6千円	6億922万4千円

### <文厚委員会で視察に行きます！>

8月28日（月）『まおいの学びのさと小学校』（長沼町）29日（火）『安平町立早来学園』（安平町）にお邪魔させていただきます。どちらの学校も、今年の4月に開校したばかりの新しい学校です。長沼町の学校はNPO法人が運営する私立の「オルタナティブスクール」で個性重視の教育を目指し、早来学園は1年生～9年生までが同じ校舎に通い、5年生から教科担任制を導入、図書室や会議室は地域の皆さまに一般開放をしているそうです。

# 山車行列 開催します！

今年はコロナ前に戻り、7月7・8日（金・土）の2日間、八雲山車行列が行われます。一部コースが変更になりましたが、みんなで大いに盛り上がりたいたいと思っておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします！

1日目：7月7日（金）午後7時に図書館を出発します。（雨天順延）

コース：図書館 ⇒ 駅前 ⇒ はぴあ ⇒ 労金（審査）⇒ 梅雲亭横 ⇒ 役場駐車場

2日目：7月8日（土）午後5時 役場前でお囃子披露 午後7時役場前出発

コース：役場前 ⇒ 梅雲亭横 ⇒ 駅前（打ち上げ）⇒ 保管庫収納

当日、良いお天気になることを皆で祈りましょう！

## 議会報告会 開催！

<八雲地域>

日時：7月25日（火）13：30～

会場：はぴあ八雲 18：30～

<熊石地域>

日時：7月25日（火）13：30～

会場：熊石ふれあい交流館

<落部地区>

日時：7月25日（火）18：00～

会場：落部町民センター

日本全国少子化による人口減少は今や大問題です。八雲町においてもどのような影響があるのかをみんなで共有し、そのためにどのような対策が必要なのかを一緒に考え、実現していきましょう。皆さまのお越しをお待ちしています。

（私は、はぴあの昼と落部担当です！）

## <海岸清掃に参加しました！>

6月11日（日）、黒岩大川地区踏切からシラリカ川までの海岸 約1.8km のゴミ拾いに参加しました。約180人の参加者ということで、集めたゴミの量もかなりありました。

もちろん、捨てる人がいなければこのような活動は必要がないのですが、本当に難しいですね。前日の雨で開催が心配されていましたが、無事終了することができ何よりです。関係者皆さまの日頃の行いの成果ですね！

『ごみは絶対に捨てない！』このことを皆で実践していきましょう！



## marché (マルシェ) in センター 13:00～15:00

毎月、**第2土曜日**にセンターの前で、マルシェを開催します。地元の野菜や海産物などを、お買い得価格で販売しておりますので、是非、のぞいてみてくださいね！（どれも新鮮でおいしいですよ！）



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126 FAX=62-3632

電話=080-5588-2090(赤井) (赤井むつみでブログの検索を！)

赤井自宅 栄町56-12(栄町3区) ☎ 63-2090